

# 第17回

## 中学生英語プレゼンテーションコンテスト

### 募集要項



2022年10月30日（日）

主催 東邦高等学校

—後 援—

- 名古屋姉妹友好都市協会
- 名古屋日豪ニュージーランド協会
- 毎日新聞社
- アジアナ航空
- 中埜総合印刷株式会社 Standard 愛知事業部
- 在名古屋ニュージーランド名誉領事館
- 一般財団法人 日本国際協力センター
- シンガポール航空
- 株式会社 JTB 教育旅行名古屋支店
- 東邦学園 フレンズ・TOHO

# 東邦高等学校主催 第17回中学生英語プレゼンテーションコンテスト要項

## 1. 目的

英語に強い関心を寄せる中学生の皆さんが、日常の学習成果を発表する場とします。

## 2. 対象 出場資格

東海3県在住・在学の中学生。英語圏滞在経験の有無は問いません。

## 3. 出場部門とテーマ

○ プレゼンテーション【全学年】：SDGs(持続可能な開発目標)より

4. 質の高い教育をみんなに

7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに

15. 陸の豊かさを守ろう

のうち一つをテーマに選び、**1人で意見や考えを含めて発表してください。**

※Microsoft Office PowerPoint を利用して発表してください。当日の環境は Microsoft Office PowerPoint 2013です。また PowerPoint 作成に当たっては、Windows をご利用ください。

※各組のプレゼンテーションが終了したところでプレゼンテーションの内容について、及びプレゼンテーションを作成していくまでの取り組みなどについて2~3の質問を英語でします。

○ レンテーション【1・2年生のみ】：本校が指定する以下の3つの原稿からひとつを選んで発表してください。

①Ayumu Hirano

平野歩夢

②Japanese Adults Get Younger

成人年齢引き下げ

③Gon, the Little Fox

『ごんぎつね』

(以上3つの原稿は同封してあります)

## 4. 人数制限について

コロナウイルス感染症予防策の一つとして、今年度は以下のとおり、各部門において出場人数に制限を設けます。出場希望の方はお早めにお申し込みください。

プレゼンテーション部門 25名

レンテーション部門 1年生の部 最大25名 2年生の部 最大50名

## 5. 申込方法

東邦高等学校ホームページ (<http://www.toho-h.ed.jp>) のトップ画面「イベント情報」から申し込みをしてください。**8月19日(金) 17:00より受付を開始し、10月14日[金]を最終とします。**

## 6. 申込上の注意

① 出場できる部門は一人につき一つです。複数の部門への出場はできません。

② プレゼンテーションの原稿及び Power Point は未発表のものに限ります。

③ プレゼンテーション部門に出場される方は完成した **Power Point** と発表英文原稿を、[international@toho-h.ed.jp](mailto:international@toho-h.ed.jp) までメール添付にてお送りください。件名は「**第17回プレゼンテーションコンテスト**」としてください。提出期限は、申し込み締め切りの**10月14日【金】**までとします。

尚、プレゼンテーション部門に出場される方は、当日スライドを保存した USB を念のためお持ちいただきます。

④ プレゼンテーション部門はスライドの1枚目にプレゼンテーションのタイトルと中学校名、学年、発表者の氏名を明記してください。また、発表英文原稿の1枚目上部右側にプレゼンテーションのタイトルと中学校名、学年、発表者の氏名を明記してください。

⑤ プレゼンテーションの発表英文原稿は以下の形式で作成してください。

フォントは Times New Roman を使用し、タイトルのフォントサイズは18、それ以外のフォントサイズは12とします。A4サイズ用紙を使用し1ページ25行で作成してください。各ページの余白は上下左右それぞれ25mmとします。裏面の作成例をご確認ください。

- ⑥ プレゼンテーションの発表原稿及び Power Point は返却しませんので、ご了承ください。
- ⑦ 本コンテストの取材や本校の記録としての写真、ビデオの撮影があることをご理解、ご承諾の上お申し込み下さい。

**7. 参加費用** 参加者一人につき500円 当日の受付にてお支払いください。

## 8. 実施日、会場およびプログラム(予定)

感染予防対策として午前と午後に分けて開催いたします。

日時 2022年10月30日(日) 8:30~15:00頃

午前 レシテーション部門	午後 プレゼンテーション部門
8:30 受付(東邦高等学校正門付近)	12:00 受付(東邦高等学校正門付近)
9:15 諸注意ののち発表開始	12:45 諸注意ののち発表開始
10:30 各会場にて発表終了(予定) 休憩及び審査委員会	14:00 各会場にて発表終了(予定) 休憩及び審査委員会
11:10 表彰式(予定)	14:40 表彰式(予定)
11:30 解散	15:00 解散

- ※ 参加人数に応じて受付の時間を変更することがあります。その場合は当日までにご連絡いたします。
- ※ 出場人数に応じて発表する会場を分けて実施しています。上記の時間通りに進行しない場合もございますので、予めご了承ください。
- ※ 昼食は必要があれば各自お持ちいただき、休憩時間帯などをご利用ください。感染症予防のため、他の方との距離を十分にお取りください。
- ※ 各会場にて表彰式を行い、その後、順次解散とします。
- ※ 発表の撮影や録画は個人情報などに十分配慮をお願いいたします。

## 9. 審査基準について

プレゼンテーションや発表の内容だけでなく、暗唱しているかどうか、前を向いて話せているか、感情がこもった発話をしているか、イントネーションや発音が適切かどうかなど、言語以外のコミュニケーションツールも含めて総合的な審査と致します。

## 10. 表彰

各部門上位3名程度を表彰します。参加者全員に参加賞をお渡しします。

### 11. コロナウイルス感染症予防のための取り組み及びお願い

1. 各会場の換気を十分に行います。
2. 座席は十分にスペースをとれるよう配慮いたします。
3. 各会場にアルコール消毒を配置します。
4. 発表終了ごとに演題とマイクの消毒を行います。
5. 当日の出場や来場にあたっては、特に2週間前からの健康にご留意ください。
6. コンテスト当日に37.5以上の発熱がある方は出場、来場はご遠慮ください。当日の受付での検温にご協力をお願いします。
7. 来場の方には必ずマスクの着用をお願いいたします。
8. 感染症予防の観点から保護者・ご家族のご来場は出場者1名につき1名までとさせていただきますが、感染が拡大しつつある状況においては、急遽お断りする場合があります。ご引率の先生方はこの限りではありません。
9. 感染拡大状況によっては、本コンテストの形態の変更や急遽中止する場合があります。何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

## 12. 問合せ先

東邦高等学校 国際交流室長 伊藤 保憲

TEL(052)782-1171 FAX(052)782-7151

e-mail [international@toho-h.ed.jp](mailto:international@toho-h.ed.jp)

25mm

余白

# Title

(タイトルのフォント Times New Roman)

(タイトルのフォントサイズ 18)

Junior High School

Grade

Name

タイトル以外のフォント Times New Roman

タイトル以外のフォントサイズ 12 1 ページ 25 行設定

25mm

余白

# Ayumu Hirano

スノーボード選手の平野歩夢さんは、4歳の時に父親の影響でスノーボードを始めました。それ以来、怪我に苦しんだこともありましたが、北京五輪スノーボード・ハーフパイプ男子で、悲願の金メダルを獲得しました。金メダル獲得までの道のりはどのようなものだったのでしょうか。

With mountains all over Japan, winter sports have been popular for a long time. Recently, thanks to Ayumu Hirano, snowboarding has become the most appealing winter sport for many young people. He started snowboarding when he was four and won a silver medal in the X Games at the age of fourteen.

Hirano first joined Japan's national team for the Sochi Olympics in 2014. He could not practice enough because of injury, but he still won the silver medal and became the youngest Japanese athlete to win a Winter Olympic medal.

In March 2017, Hirano suffered a serious fall during an event in the United States. He was forced to spend two weeks in the hospital. Just six months later, Hirano made a remarkable comeback by winning the halfpipe competition at the World Cup event in America.

Hirano's first name, Ayumu, means to "walk a dream" in Japanese. Literally, he lives his life and walks his dream. When he became the youngest Olympic medalist in Sochi, he answered a question about his goal in his life: "I am going to walk toward it, step by step." He achieved another goal by winning the gold medal this year at the Beijing Olympics. Hirano is just 23 years old, so what could be next for Japan's amazing young athlete?

# Japanese Adults Becoming Younger

「大人になる」ということはどのようなことでしょうか。日本では、これまで20歳になったら大人として考えられてきましたが、大人として認められる年齢が18歳に引き下げられました。このことによって18歳の若者は何ができるようになり、どんな責任を負うことになるのでしょうか。そして将来の日本の姿とは？

“Seijin-no-hi” or Coming of Age Day in Japan is always an exciting day for young people in Japan. A ceremony is held to celebrate twenty-year-old people as new adults, but Japan’s adults are getting younger. Japan decided to change the age of adulthood to 18 in 2022. Because of this change, more than two million 18 and 19-year-old people will become legal adults at the same time.

What exciting things can these new adults do? They can vote, buy smartphones themselves, or sign up for credit cards. If they break the law themselves, their names will be reported in the media. However, the young adults will still not be able to do some things, such as gambling or drinking alcohol.

A lot of people hope that young adults will participate in society by lowering the age of becoming adults. As the Japanese population is thought to be smaller in the future, young people need to play a bigger role in the future direction of Japan. For Japan to continue to be an exciting and innovative country, the new young adults need to become the future!

## Gon, The Little Fox

新美南吉は、愛知県半田市出身の児童文学作家です。29歳の若さで亡くなったこともあり、作品は多くありませんが、代表作『ごんぎつね』はあまりに有名です。兵十にいたずらをしたごんは、兵十の母が亡くなったことを知って魚や栗を兵十の家の玄関前に届けるようになりました。兵十が贈り物をくれるのは誰だろうかと思っていたその頃…

One day, Gon saw a man fishing in the river. “It’s Hyoju”, thought Gon. Hyoju lifted his net out of the water, and inside it was a big, fat eel. Hyoju put the eel into his basket with some fish he caught earlier. He then turned away.

Gon thought, “I’ll play a trick!” He went to the basket and started throwing the fish back in the river. Gon then picked up the slippery eel in his mouth, but suddenly Hyoju turned around. “Hey, Fox! Leave my eel alone!” Surprised, Gon ran off with the eel in his mouth.

Later that week, Gon was walking near Hyoju’s house. Many people were gathered for a funeral, and Gon thought “Hyoju’s mother has died. She must have wanted the eel that I stole.” Hyoju looked sad, so Gon decided to help him. Gon thought “I’ll give some fish to Hyoju!” So, he took fish from a fish seller and left them outside Hyoju’s door.

Hyoju was wondering who left these gifts outside his house, so one evening he stayed up late. Then he saw Gon appear from the bushes. Hyoju thought “That’s the fox that stole my eel!” He got his gun from his house and aimed at the fox. Bang! Hyoju ran over to Gon, and saw he had some chestnuts. “It was you who was giving me the gifts!” said Hyoju. Gon nodded, and then closed his eyes.